

福岡市の ごみ減量推進活動を支える臨海3Rステーション

◇ 転勤族が福岡に住み始めて最初に驚くこと

福岡市では、家庭ごみは4分別収集です。「たった4分別で良いの?」と市外からの転入者は声を揃えて驚きます。「燃えるごみ」「燃えないごみ」「空きびん・ペットボトル」「粗大ごみ」の4分別は他の市町村に比べると少ないと思われているようですが、実は集めたごみは処理施設(市内2カ所にある資源化センター・選別処理施設)でさらに9区分に分けられています。市民の見えないところで、「①可燃物」「②不燃物」「③鉄」「④アルミ」「⑤リユース」「⑥びん無色」「⑦びん茶色」「⑧びんその他」「⑨ペットボトル」に分けられ、「③鉄」から「⑨ペットボトル」までの7分別はリユース・リサイクルに再活用されているのです。

驚かれることがもう一つあります。ごみの収集が夜間に行われるため、単身赴任者や一人暮らしの生活者は、夜遅く帰宅してもごみが出せるので大いに助かっています。昼間の収集の場合、家の前にごみ袋を出すとカラスや猫、犬に袋を喰い破られ、道路にごみ散乱し、悪臭や景観を損なう事態を引き起こしてしまいますが、夜間の収集はこれらのことを未然に防いでいます。また、ただでさえ交通渋滞のひどい福岡都市圏内では、昼間のごみ収集車の活動に比べ、夜間の移動はスムーズで効率的です。

一方ではデメリットもあります。夜間収集はごみ収集に携わる人々への時間外労働割増賃金が発生し収集コストにかかってきます。さらに夜陰に乗じて悪質なごみ出しルールを守らない市民も出てきます。

◇ 家庭から出る生ごみは宝の山

福岡市の家庭から出される燃えるごみのおよそ3割が生ごみです。最も残念なことは水分が多く含まれて容量を増やしていることです。生ごみの水分をしっかりとって出すことで、家庭ではごみの容量が減り、ごみ袋の節約になります。収集に携わる人たちにとっては、45リットルのごみ袋が水分を多く含んでいるとその重さは大変なものであり、健康問題にも関わってきます。

発想を変えて、生ごみを燃えるごみに出すのではなく、自分で作ったごみを土と混ぜて堆肥を作り、小ネギやミニトマト、大葉やレタスなどを植えてベランダ菜園を楽しみましょう。生ごみが生まれ変わって添加物なしの新鮮食材となって食費の節約にも一役買います。

◇ 持続可能なエコ社会づくりのために

膨大な廃棄物の処理施設としての臨海工場に隣接した3Rステーション(リサイクルプラザ)は、身近な暮らしの環境から地球環境問題まで、幅広い視野で環境について考える環境学習の拠点施設として、持続可能なエコ社会づくりの一翼を今後とも担っていく責務があります。

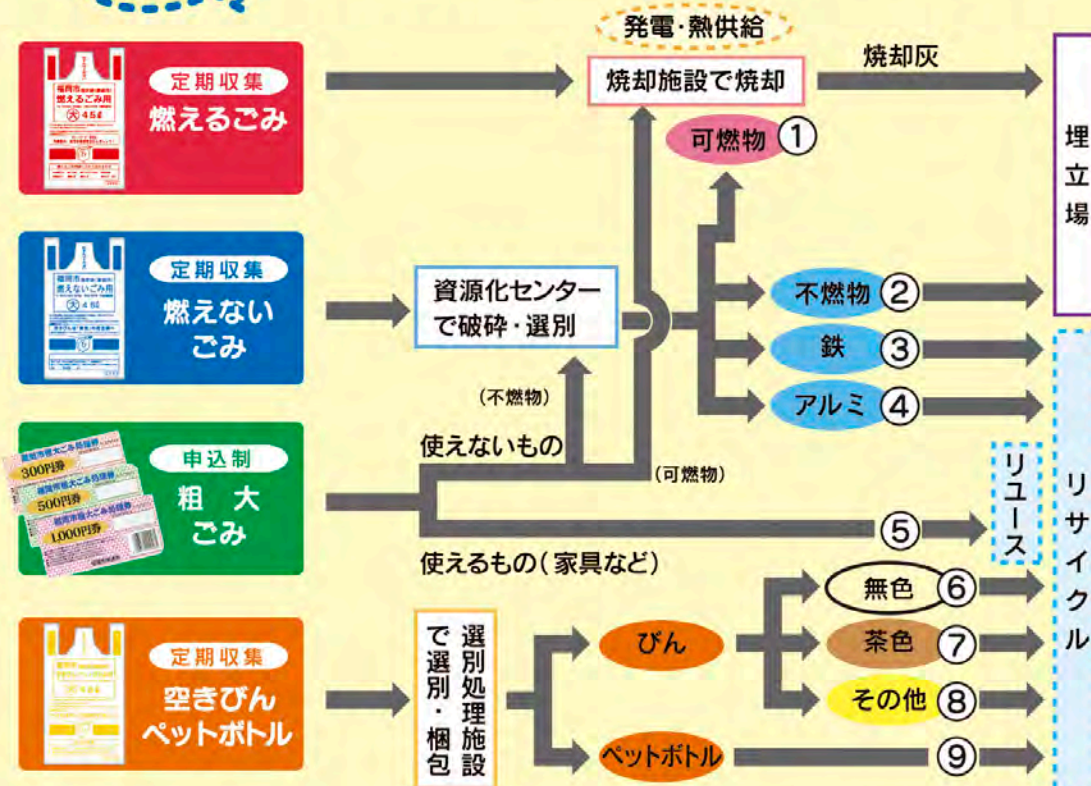
今後とも地球上に住むすべての人に“ごみを作らない”“できたごみは繰り返し利用する”“できたごみを再活用する”3Rを訴えていきたいと思っています。

特定非営利活動法人エコネットふくおか
理事長 大谷鮎子

福岡市のごみ処理の流れ

最終的には
9区分

福岡市では4分別で収集した家庭ごみを、最終的には下図①～⑨の9区分にして、リサイクルや処理をしています。



出典:福岡市環境局 家庭ごみルールブック



ごみの出し方知ってる? 家庭ごみルールブック

ごみを出す時、どうやって捨てたらいいのかわからないことはありませんか? 福岡市環境局が作っている「家庭ごみルールブック」を利用するとその悩みが解決します。

家庭ごみルールブックと簡易版の家庭ごみガイドは各区役所や臨海3Rステーションで配布しています。家庭ごみルールブックは英語版・中国語版・韓国語版もあります。福岡市環境局のホームページからデータをダウンロードすることもできます。

新聞、段ボール、雑誌やお菓子の空き箱などの雑がみ、飲料用のアルミ缶やスチール缶、リターナブルびん、紙パック、食品トレイ、蛍光灯、マンガン電池やアルカリ電池、ヘッドホンやイヤホンなどの小型電子機器。

福岡市ではこのような品目を資源物として回収しています。ごみとして捨てるのではなく、最寄りの回収拠点に出して、ごみを減らしましょう。



家庭ごみルールブック

生ごみコンポスト畑日記

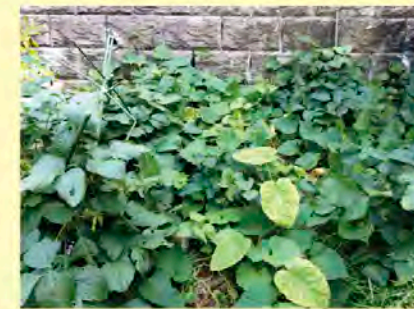
さあ、そろそろ収穫の時期。さつまいものつるで土が見えなくなった畑で、わくわくしながら芋を掘りおこしてみました。掘っても、掘っても、芋は出てこない。長く伸びたつるの下は、ただ根っこがあるのみ。

さつまいもを植えた最初の頃は、苗と苗の間を掘ってコンポストでできた堆肥を入れたりしたけれど、つるがどんどん伸びて間を探しにくくなってからは、追肥をしていませんでした。さつまいもは栄養がなくても育つてことだったけれど、そういえば、つるが伸びすぎるとそちらに栄養を取られて、芋ができないと聞いたことがある..などと考えを巡らしました。いろいろ調べてみると、原因は水のやりすぎだった可能性が高いようです。

収穫結果は写真のとおり、小さいさつまいもが4~5個。後はつるばかりが伸びていたので、仕方なくつるを調理して食べました。

にらやトマトは食べるのができたし、とうがらしも植えていたのでゆずこしょうに一役買ってくれたので、今年はこれでよしとします。

次回の豊作を願って、掘り返した畑に生ごみコンポスト堆肥をたっぷり混ぜました。少しは肥えた畑になったはずだから、早速冬野菜を植えてみます。(奈)



畑の様子



収穫したさつまいも

臨海3Rステーションでは、菜園相談会を行っています。生ごみリサイクルを始めた、畑で何が育てたいなどのご相談をお受けしています。開催日は広報誌や市政だよりでご確認ください。